

FDだから可能にした 高性能と品質保証

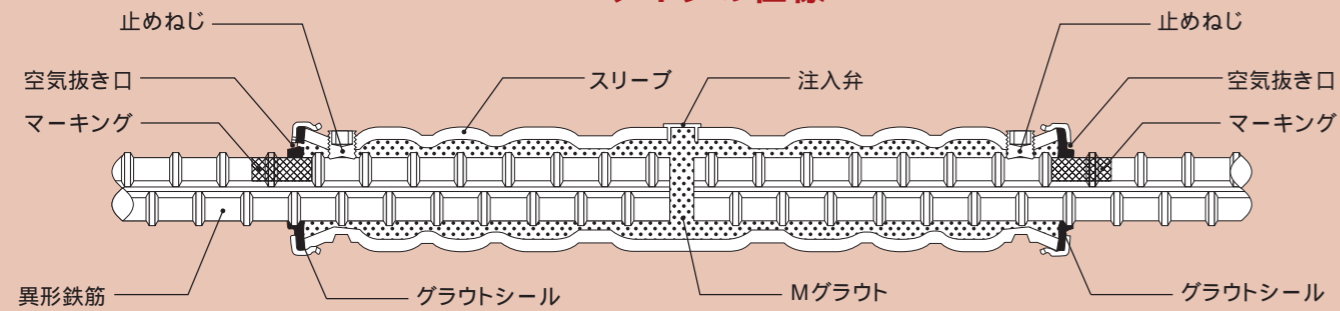
日本建築センターにて鉄筋継手評定「A級継手」

FDグリップ継手Mタイプは、異形鉄筋継手工法のA級継手（2015年版建築物の構造関係技術基準解説書「鉄筋継手性能判定基準」）です。
また、土木学会「鉄筋定着・継手指針」[2007年版]の継手単体性能「A級」を有しており、**200万回疲労試験にも余裕を持って合格**しています。
鉄筋形状を選ばない、施工誤差の吸収性の高い継手であり、鋼種SD295～SD390に対応、2径差までの異径継手にも使用可能です。

試験により継手性能を確認

Mタイプは施工前に継手強度試験を行い、継手性能を確認します。

Mタイプの仕様



(単位:mm)

接合鉄筋の呼び名	D16 D19 D22	D19 D22 D25	D22 D25 D29	D25 D29 D32	D29 D32 D35	D32 D35 D38	D35 D38 D41	D38 D41 D51
スリーブの呼び名	Mt 22	Mt 25	Mt 29	Mt 32	Mt 35	Mt 38	Mt 41	Mt 51
外径	40.0	45.0	50.8	57.0	63.5	68.9	75.0	89.1
全長	248	286	324	364	404	444	484	634
接合鉄筋の 最小埋込み長さ	113	131	149	168	187	206	225	297
止めねじ径	M10×1.5		M12×1.75			M16×2.0		

FDブランドのNew Standard コンパクトな新グラウト継手

FDグリップ継手


Mタイプ



開発・製造


動画はWebで配信中!

ホームページ <http://www.fujibolt.co.jp>
資料請求 E-mail: info@fujibolt.co.jp

 株式会社 富士ボルト製作所

本社 〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2 電話: 03-5637-7192(代) FAX: 03-5637-7195

千葉工場 〒270-0235 千葉県野田市尾崎2325-6 電話: 04-7192-8168(代) FAX: 04-7192-8188

 岡部株式会社

本社営業部 〒131-8505 東京都墨田区押上2-8-2 電話: 03-3621-1611(代) FAX: 03-3621-1616

代理店

 岡部株式会社

 株式会社 富士ボルト製作所

簡単施工・簡単管理のグラウト継手、FDから革新提案。

ブランド

柱・梁・杭・連壁。 開口部に実力を発揮

こだわりの鋼管スリーブ

FDグリップMタイプのスリーブは、鋳物ではなく、機械構造用鋼管を採用しています。当社では、特に圧延鋼材が機械的性質に富み、延性が高いためスリーブ材に最適であると、こだわりを持っています。製品は強度を十分に確保し、品質の安定化にも成功しています。

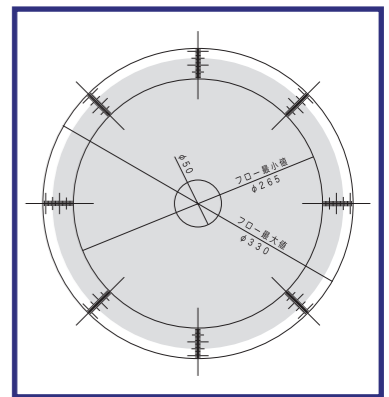
また、外形は独特な波形に成型、躯体への付着性能を飛躍的に向上させました。

Mタイプのスリーブには、止めネジにもこだわりの高強度ボルトを使用し、20kNの保持荷重に充分に対応。構造物の仮設にも充分耐える能力を有します。

高強度ボルト

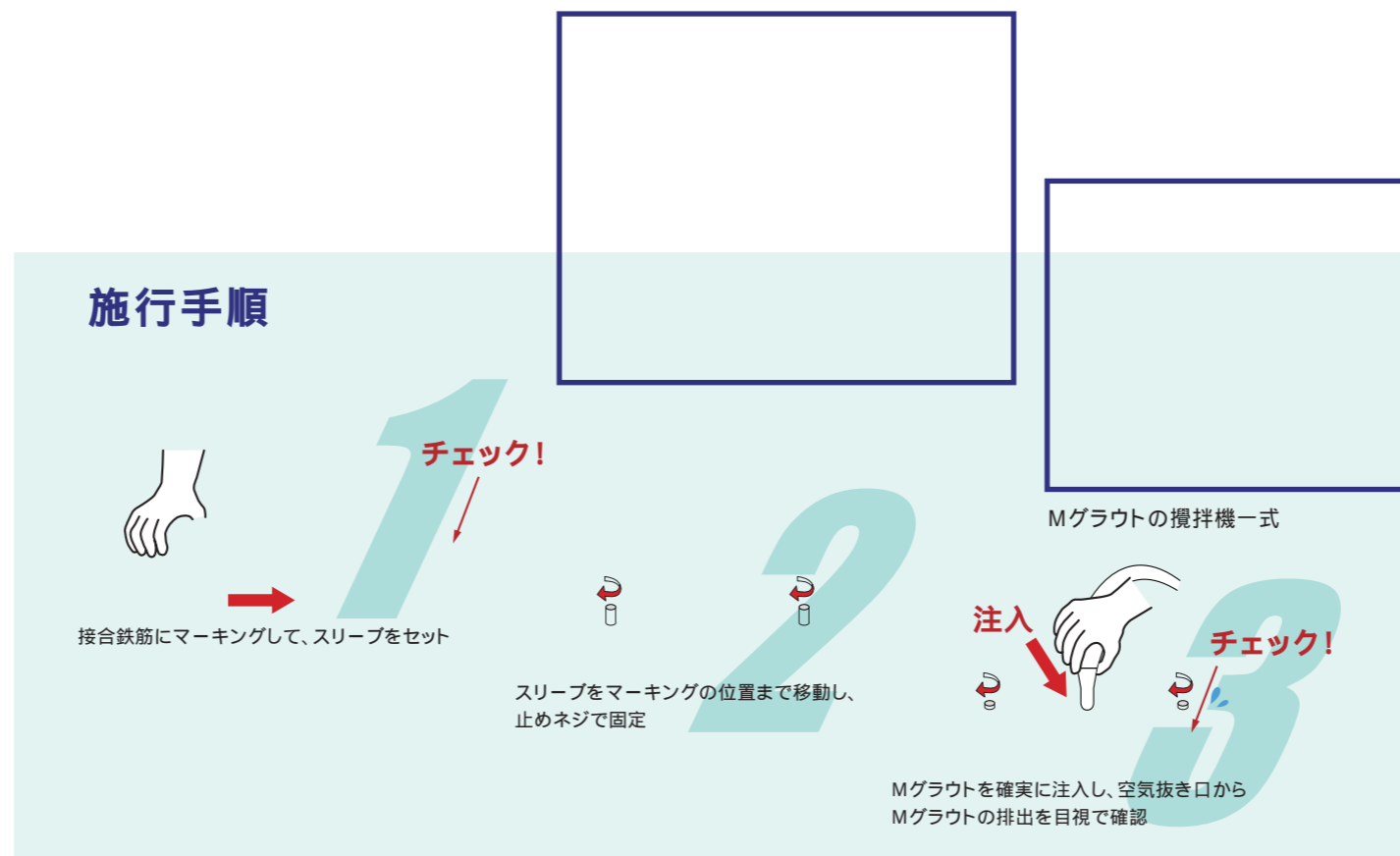
驚異の性能Mグラウト

FDグリップMタイプの専用グラウト・Mグラウトは、高強度・高流動・無収縮・ノンブリーディング・120分間の流動性保持を可能にしました。現場では、施工日にMグラウトのフロー値の測定を行うだけです。



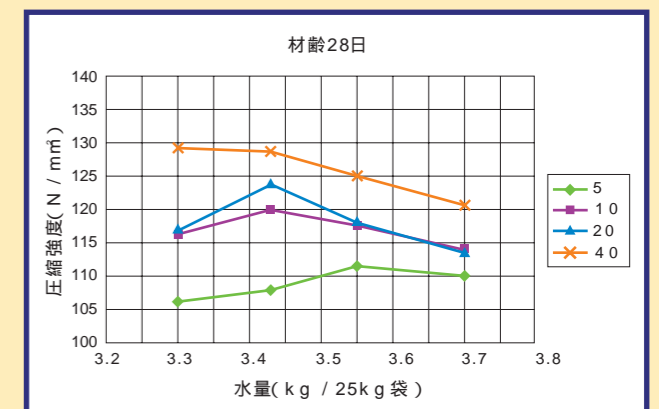
フロー値の測定結果
Mグラウトは、規定の直径(265~330ミリ)である事を確認します。

施行手順



Mグラウトの性能

温度別の水量～圧縮強度(材齢28日)の関係を示しています。



温度別の水量～圧縮強度(材齢28日)